

加茂小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画



地区の特徴

加茂小地域は川西市南部に位置し、北はJR宝塚線沿いに、西は宝塚市口谷地区に接し南は中国自動車道、東は寺畑前川沿い、加茂橋から中国自動車道バイパスまでの範囲です。地域内には鴨神社があり、旧石器時代から平安時代の集落跡で特に弥生時代中期には大規模集落が営まれ、平成12年には「加茂遺跡」として国の史跡に指定されました。初夏には桃、盆から秋にかけてはイチジクの収穫等営農に適した地域で近年は宅地化が進み自然環境が狭まりつつあります。数は少ないですがヒメボタルが崖斜面で、最明寺川でゲンジボタルがみうけられます。高齢化率は市内平均より少々低い地域です。福祉活動では「見守りあい」「ふれあい」「支えあい」「つながりあい」活動を通じて「“絆”～生まれる！こころ豊かなまち加茂」づくりに取り組んでいます。

加茂小地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などの
データは
コチラ→



かわナビは
コチラ→



福祉目標



“絆”～生まれる！こころ豊かなまち加茂

地区の重点事業

重点
1

あらゆる世代の参加・参画・居場所づくり

重点
2

見守り・つながる・支えあう共生の地域づくり

重点
3

誰もが安心して生活できる基盤づくり

重点
4

災害時の支援体制づくり

地区別ワークショップのテーマ

- ◆《地域づくり》 見守り・つながる・支えあう。
(向こう三軒両隣)
- ◆《高齢者》 趣味を生かした活動の普及促進。
- ◆《障がい者》 障がいのある人との交流の場づくり。
- ◆《子ども》 地域での子どもの居場所づくり支援。

第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

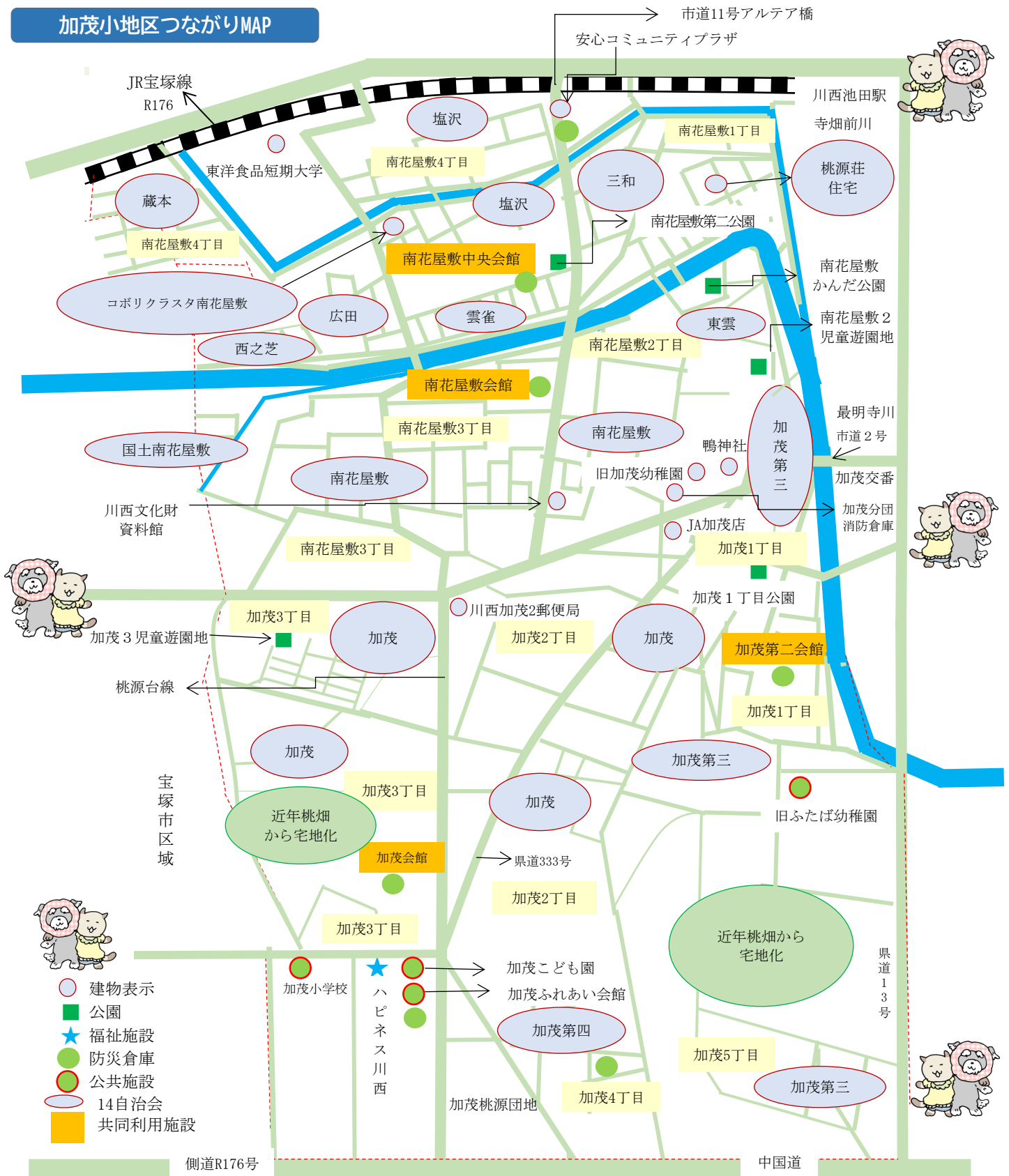
- ◆ 福祉デザインひろばづくり。
- ◆ 人づくり。
- ◆ 遊び場づくり。
- ◆ ネットワークづくり。
- ◆ この期間コロナ感染対策の為殆どの事業が滞る。



現在の地区の取り組み

- ◆ 4ヶ所の福祉拠点維持運営管理
- ◆ 福祉ネットワーク会議開催
- ◆ 福祉ニュース「絆～加茂」年2回発行
- ◆ 相談事業
- ◆ ボランティア活動事業「ほのぼの会」
- ◆ 避難行動要支援体制
- ◆ 認知症啓発支援事業
- ◆ 福祉生活支援事業
- ◆ 福祉委員（研修・情報交換）
- ◆ 加茂小コミュニティ事業に参加「文化祭・加茂コスポートデー・加茂まつり・にぎやか発表会・避難訓練」
- ◆ この4年間コロナ感染対策で事業が停滞しましたが徐々に事業は再開されてきました。
- ◆ 交流事業「ひろばサロン会・相談会」拠点4ヶ所
- ◆ 交流事業「手話 花花たんぽぽ」
- ◆ 交流事業「一人暮らし高齢者 百寿会」担当民生委員・児童委員
- ◆ 交流事業「地区障がい者団体 加茂フラワ会」
- ◆ 交流事業「園児・高齢者の集い」
- ◆ 交流事業「脳トレ麻雀会」
- ◆ 交流事業「囲碁・将棋会」
- ◆ 交流事業「ハピネス川西 ふれあい喫茶」
- ◆ 交流事業「カフェ憩い」は再開に向けて協議中

加茂小地区つながりMAP



目的



高齢者・障がい者・子どもなどあらゆる世代が能力や関心に応じ、参加・参画を通じて地域の中で能力を発揮できる自分の居場所の確保及び、多世代型の交流の場をつくる。

具体的取り組み



- ◆ 井戸端会議のような気軽なおしゃべりの場で、コマ回しなど昔の遊びを子どもと大人が一緒に楽しめる多世代交流ができる居場所をつくる。
- ◆ 居場所の元は会館。まず会館を存続させる課題に取り組む。
- ◆ 活動内容が分からない人も多数いるので、地域別に一覧表（日時・場所・内容等）を作成し、自治会やコミュニティの掲示板に貼ることで、新たな参加者が増えるようにする。

目的

- ①暮らしにおける人と人とのつながりを再構築することで人生における様々な困難に直面した場合でも誰もが役割を持ちお互いが配慮し存在を認め合う。
- ②誰もが支えあい、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会をめざす。

具体的取り組み



- ◆ 挨拶やちょっとした立ち話から見守りする側、される側も負担にならないように気かけあう。
- ◆ 身近な支援を必要とする人を把握し、地域の関係機関と福祉委員が協力して複数人で見守る体制をつくる。（まず向こう三軒両隣からスタート）
- ◆ 地域内を適度に散歩し見守りにつなげる。また、必要があれば支援者につなげたり、近隣同士で見守ってもらうようにつなげる。



《ひろばサロン会》

第1拠点《南花屋敷中央会館》

第2拠点《旧ふたば幼稚園》



住所 南花屋敷4-11-5
開催日 毎月第1水曜日
(1・5・8月お休み)
開催時間 10時～12時
対象住民 南花屋敷1・4丁目



住所 加茂1-18-30
開催日 毎月第2木曜日
(1月お休み)
開催時間 14時～16時
対象住民 加茂1・5丁目

目的

誰もが安心して生活を維持できるよう地域住民相互の人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち助け合いながら暮らしていくことのできる地域や社会を創っていく「地域共生社会」の実現に向けた基盤づくりに努める。

具体的取り組み

- ◆年齢・性別・障がいの有無を問わず交流する。体操、モルック、ポッチャなどの誰もが参加できる健康づくりに向けた取り組みを継続していく。
- ◆普段から活動を支援してくれるボランティアを広く募るために、趣味を活かせる場所があると広報を行い、人材を確保する。



目的

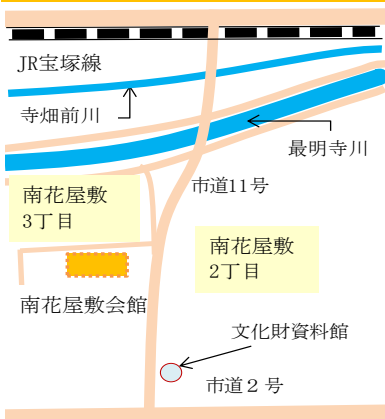
地域の中で日ごろの見守り・声掛け活動の中で把握した情報を共有して、防災訓練などに役立てるとともに、災害時には関係機関と安否確認や避難誘導などの支援を行う。

具体的取り組み

- ◆関係機関と連携して協議を行い、役割分担など活動体制を整える。
- ◆災害時の避難経路や避難場所、避難後の具体的な計画など明確化しサロン会や広報紙で住民に周知するとともに、関係機関との連携強化を図る。



《ひろばサロン会》



《第3拠点南花屋敷会館》



住所 南花屋敷3-2-16
開催日 毎月第3木曜日
(8月お休み)
開催時間 14時～16時
対象住民 南花屋敷2・3丁目

《第4拠点加茂会館》



住所 加茂3-8-8
開催日 毎月第4水曜日
開催時間 14時～16時
対象住民 加茂2・3・4丁目

加茂小地区ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

日程

内容

- ◆令和5年 7月11日(火) 地区別ワークショップ 開催
 - ◆令和5年11月28日(火)ほか3回 地区福祉計画策定委員会 開
 - ◆策定委員会
- 藤田 喜志夫・井上 昭子・片山 守・尾野上 一夫・新田 容子
岸本 治子・三浦 幸子・藤井 知子・尾上 豊子・森田 淑子

加茂小地区福祉委員会事業一覧表

事業名	区分	内 容
	新規/重点	内容、回数、定期開催の場合は曜日
福祉ネットワーク会議	重点	・地域諸団体から地区福祉委員会への要望・提案・情報交換（2回/年）
福祉拠点維持・運営		・維持管理（共同利用施設4ヶ所・旧ふたば幼稚園）
情報の受発信事業	重点	・福祉ニュース「絆～加茂」（年2回）・交流事業の受発信（回覧） ・コミュニティHPへ掲載依頼
ボランティア活動事業 「ほのぼの会」		・車椅子体験学習（加茂小学校・川西南中学校）サポート ・ハピネス川西（ふれあい喫茶 R5・12・22再開）
避難行動要支援体制	重点	・災害時の支援体制づくり及び安否確認。 （加茂小コミ・自治会より連携要請があれば支援を行う）
交流事業 「ひろばサロン会：相談会」	重点	・南花屋敷中央会館・南花屋敷会館・加茂会館・旧ふたば幼稚園で毎月1回開催 （★加茂小地区の皆様はどこの会場にご参加頂いても構いません） ・企画・立案等福祉委員担当・相談会は民生委員・児童委員担当
交流事業「カフェ：憩い」	重点	・加茂会館毎週水曜日（但し第4週休み）開催時間（14：00～16：00） ・南花屋敷中央会館毎週水曜日（但し第1週休み） 開催時間（14：00～16：00） ★珈琲・茶菓子（100円）提供。（再開&会場等検討中）
交流事業 「手話：花花たんぼぼ」	重点	・聴覚障がい者の方々と手話を通じて地域情報等交換会 （加茂ふれあい会館コミ室、毎月第1週土曜日 開催時間10：00～12：00）
交流事業 「一人暮らし高齢者：百寿会」		・一人暮らし高齢者（65歳以上）会費制（月200円） 担当民生委員・児童委員
交流事業 「園児：高齢者の集い」		・加茂こども園児&（一人暮らし）高齢者の集い
交流事業 「障がい者団体：加茂フラワ会」		・グラウンドゴルフ大会&情報交換
交流事業 「市民体育祭」		・加茂コミ主催「加茂コミスポーツデー」開催時、福祉席の維持管理
交流事業「世代間交流」		・夏休み工作づくり
交流事業 「脳トレ麻雀会」	新規	・加茂交流会館（加茂ふれあい会館敷地内） ・開催日 第1・3週目水・土曜日及び第2・4週目火曜日 ・開催時間 13：00～16：45 ・参加料1回につき100円
交流事業 「囲碁・将棋会」	新規	・南花屋敷中央会館（毎月第2週目木曜日14：00～16：00） ・加茂会館（毎月第4週目木曜日14：00～16：00）
認知症啓発支援事業		・キャラバンメイト会主催 「認知症サポーター養成講座・SOS行方不明模擬訓練」支援
介護・認知症予防支援事業		・川西南地域包括支援センター事業支援「いきいき元気倶楽部各会館サポート」
福祉委員研修会	重点	・福祉委員全体研修・新福祉委員研修・施設研修

